

CVVのあゆみ

2023年5月版

96	2015年（平成27年）9月	年次総会(2015年度)	代表の交代、 多数の新規会員の加入、 活動内容の見直し
97	2016年（平成28年）3月-7月	出前講演	西宮市都市局にて 「KAISON企画」(谷平 勉氏) 「都市土木工事の苦勞あれこれ」(友廣 康二氏) 「高齢化トラス橋の診断と長寿命化」(夏秋 義広氏) 「近代化土木遺産を利活用したまちづくり」 (村瀬 佐太美氏)
98	2016年（平成28年）3月-11月	土木行事支援	なにわ八百八橋・橋洗い支援「子供への語り部」 神戸市・花フェスタこうべ「橋の模型づくり体験」 神戸市・土木の教室「模型でアーチ橋」 神戸市・土木の教室「模型で地震体験」
99	2016年（平成28年）5月-12月	橋の現地調査	浪速の名橋50選の改訂のための調査 「淀川大橋から雪鯨橋まで(7橋)」 「神崎橋から大浪橋まで(7橋)」 「港大橋から夢舞大橋(6橋)」 「舟を利用し、大川、東横堀川、道頓堀川巡り(31橋)」 「新鳴野橋から難波橋まで(8橋)」 「住吉反橋から玉江橋まで(6橋)」 「錦橋から水晶橋まで(8橋)」
100	2017年（平成29年）1月-11月	橋の現地調査	浪速の名橋50選の改訂と追補のための調査 「今橋から心斎橋まで(10橋)」 「舟を利用し、都島橋から枚方大橋まで(8橋)」 「関西国際空港連絡橋から大阪南港東水路橋まで(6橋)」 「旭江野橋から新木津川大橋(5橋)」
101	2017年（平成29年）3月-6月	出前講演	西宮市都市局にて 「阪神大震災 記録を辿って」(祝 賢治氏) 「西宮市職員への話題提供」(黒山 泰弘氏) 「仕事はおもしろい？／橋の維持管理」(川谷 充郎氏)
102	2017年（平成29年）3月-11月	土木行事支援	神戸市・花フェスタこうべ「橋の模型づくり体験」 神戸市・土木の教室「模型でアーチ橋」 神戸市・土木の教室「模型で地震体験」
103	2017年（平成29年）5月	ワークショップ開催	大阪工業大学にて、関西支部共同研究グループの活動報告
104	2017年（平成29年）6月	土木学会の行事支援	土木学会・関西支部が主催する「ぶら・土木」を支援。 天神橋から桜宮橋までの7橋について、室内で橋を概説の後、グループに分かれて大川沿いを歩いて案内。
105	2017年（平成29年）7月	学生見学会を主催	大阪市立大学の学生(14名)を引率し、淀川大橋から豊里大橋まで、淀川沿いを歩き橋を解説した。

CVVのあゆみ

2023年5月版

106	2017年（平成29年）9月-11月	土木施設の見学	「毛馬閘門、淀川大堰」 「舟を利用して、大阪湾岸道路 西伸部」 「舟を利用して浪速の名橋50選巡り」(国交省・近畿地整の橋梁スペシャリスト会議の行事を支援)
107	2017年（平成29年）10月	年次総会(2017年度)	
108	2018年（平成30年）1月	他団体との交流	機械学会関西支部 浅田 忠敬氏を招き機械学会のシニア会の活動状況を聴く。
109	2018年（平成30年）2月	出前講演	西宮市都市局にて 「これからの都市行政を考える際に重要な要素」(黒山 泰弘氏) 「インフラ維持管理の今後」(古田 均氏)
110	2018年（平成30年）2月-9月	土木施設の見学	「淀川大橋補修工事」 「震災資料保管庫」
111	2018年（平成30年）3月-11月	土木行事支援	神戸市・花フェスタこうべ「橋の模型づくり体験」 神戸市・土木の教室「模型でアーチ橋」 神戸市・土木の教室「模型で地震体験」
112	2018年（平成30年）5月	土木学会の行事支援	土木学会・関西支部が主催する「ぶら・土木」を支援。 難波橋から肥後橋までの橋について、室内で橋を概説の後、グループに分かれて大川沿いを歩いて案内。
113	2018年（平成30年）6月	土木学会誌に掲載	土木学会誌に「シニア土木技術者による関西での取り組み」としてCVVの活動の記事(黒山 泰弘氏)が掲載された。
114	2018年（平成30年）6月	年次総会(2018年度)	会則を制定。土木学会関西支部との協議の後、関西支部の継続的な支援を受けることになり、CVVの立ち位置を明確にするために、会則を制定した。
115	2018年（平成30年）6月	ワークショップ開催	神戸大学にて、関西支部共同研究グループの活動報告
116	2018年（平成30年）6月-11月	大阪メトロの行事支援	大阪メトロが主催するぶらりウォークに参加。 「大阪メトロ本社から大阪港駅まで」 「野田阪神駅から阪神・福駅まで」(淀川大橋の解説を担当)
117	2018年（平成30年）9月-11月	橋の現地調査	浪速の名橋50選の改訂と追補のための調査 「毛馬桜の宮公園沿いの橋(6橋)と史跡」 「烏飼仁和寺大橋から福島高架橋(4橋)」 「新大和川大橋から光明池橋(3橋)」
118	2018年（平成30年）10月	学生見学会を主催	関西大学の学生(10名)を引率し、豊里大橋から新淀川大橋まで、淀川沿いを歩き橋を解説した。
119	2019年（平成31年）1月	他団体との交流	土木環境しなの技術支援センタ 山浦氏を招き活動状況を聴く。 地盤工学会関西支部の「シニア技術者の社会貢献」をテーマとするパネルディスカッションにCVV会員がパネラーとして参画。

CVVのあゆみ

2023年5月版

120	2019年 (平成31年 令和元年)	2月-12月	土木施設の見学	「淀川河口右岸側の施設」(レンタサイクルを利用) 「亀の瀬地滑り対策現地」 「淀川河口左岸側の施設」
121	2019年 (平成31年 令和元年)	3月-11月	土木行事支援	神戸市・花フェスタこうべ「橋の模型づくり体験」 神戸市・土木の教室「模型でアーチ橋」 神戸市・土木の教室「模型で地震体験」
122	2019年 (令和元年)	5月	年次総会(2019年度) ワークショップ開催	大阪大学にて、関西支部支援活動報告
123	2019年 (令和元年)	5月	学生見学会を主催	明石高専、大阪大学、神戸大学、大阪工業大学の学生(22名)を引率し、豊里大橋から新淀川大橋まで、淀川沿いを歩き橋を解説した。
124	2019年 (令和元年)	8月	関西道路研究会から表彰	関西道路研究会の総会にて、CVVが優秀業績賞を受賞。
125	2019年 (令和元年)	9月	土木学会全国大会 年次学術講演会発表	年次学術講演会共通セッション「橋と社会」(香川大学)にて、「大阪の橋を活用した技術伝承、市民広報の取り組み」(黒山 泰弘氏)発表、田中賞選考委員会よりかけはし賞受賞
126	2019年 (令和元年)	9月-11月	出前講演	近畿地整・技術スペシャリスト会議(橋梁)にて講演 「橋梁の地震防災を考える」(南荘 淳氏) 「鋼橋の疲労、座屈、架設事故」(祝 賢治氏) 「仁川大橋、斜張橋の耐風設計、斜張橋の長大化」(田中 洋氏) 「六甲アイランドの地盤特性、最大照査地震動、長大箱桁橋」(武 申明氏)
127	2019年 (令和元年)	10月	土木学会の行事支援	土木学会・関西支部が主催する「ぶら・土木」を支援。水上バスを利用し、CVVの解説により、なにわ八百八橋をめぐる。
128	2019年 (令和元年)	10月	大阪メトロの行事支援	大阪メトロが主催するぶらりウォークにて、なみはや大橋歩道上で、眺望可能な橋と土木施設を解説した(約200名)
129	2019年 (令和元年)	11月	中学校に出前授業	同志社中学にて特別授業 「大鳴門橋」(祝 賢治氏) 「土木材料」(友廣 康二氏) 「名神高速道路」(塩野谷 洋一氏) 「橋ってどんなもの 橋の魅力」(黒山 泰弘氏)
130	2020年 (令和2年)	5月	年次総会(2020年度)	総会およびワークショップを5月25日に大阪大学で開催した。
131	2020年 (令和2年)	7月	舞鶴高専との連携	舞鶴高専ではリカレント教育を全国展開するため実務家教員を活用したインフラメンテナンス人材育成を実施している。CVVでの協力の可能性について意見交換を行った。

CVVのあゆみ

2023年5月版

132	2020年（令和2年）	10月	土木遺産調査	京都市内にある土木学会選奨土木遺産5施設を調査した。対象は、(1)阪急大宮駅と地下線路、(2)琵琶湖疎水の発電設備群、(3)七条大橋、(4)堀川第一橋、(5)賀茂川・鴨川河川構造物群。
133	2020年（令和2年）	11月	橋と土木施設の現地調査	大和川付替え箇所（羽曳野市、柏原市）付近に架かる橋（5橋）とその周辺の治水施設、および資料館を調査した。
134	2020年（令和2年）	11月	土木学会関西支部地域活動賞を受賞	地域活動賞は、土木を通じて地域や関西支部の活動圏に貢献する団体を顕彰する制度で、本年はCVVを含め7件が選ばれた。
135	2020年（令和2年）	12月	CVVホームページの刷新	CVVの旧HPは、20年余にわたるCVVの歴史が集積された貴重な記録だった。しかし、データの増大に伴い、構造が複雑となり使用性に問題が生じた。そこで、新旧のデータを区分し、2015年以降のデータを移行させ、様相を刷新したHPとした。
136	2021年（令和3年）	1月	出前講演	地盤工学会関西支部若手セミナーにて講演 「発注者から見た設計・施工の留意点」（先本 勉氏） 「湾岸埋立地での地盤特性を考慮した橋梁計画事例」（武 伸明氏） 「長大山岳トンネルにおける地質・地盤変化に対するリスク管理の重要性について」（須賀 敦氏）
137	2021年（令和3年）	3月	土木学会とインフラパートナー協定を締結	2020年度土木学会会長テーマ「市民との協働」に基づき学会は16団体とインフラパートナー協定を締結した。CVVはその一団体に選ばれた。
138	2021年（令和3年）	5月	年次総会（2021年度）	コロナ禍のため総会はメール審議にて開催した。ワークショップは中止となった。
139	2021年（令和3年）	11月	出前講演	地盤工学会関西支部若手セミナーにて講演 「兵庫県南部地震における震災被害調査で学んだこと」（南庄 淳氏） 「河川の氾濫危険度と堤防破壊のメカニズムについて」（栗田 秀明氏） 「都市土木工事の苦勞あれこれ（営業線近接工事）」（友廣 康二氏）
140	2021年（令和3年）	11月	土木行事支援	神戸市・土木の学校主催の橋梁模型コンテストにCVVから審査員を派遣し協力した。
141	2021年（令和3年）	12月	いきいき活動（学童保育支援）	小学校の学童保育支援はCVV活動の一つとして2019年より取り組み、モデル校の東小橋小学校の指導員と協議を重ね、試行錯誤の末、トラス橋の模型製作をテーマに選定。東小橋小の学童10人を対象に第1回目の模型づくりを実施した。

CVVのあゆみ

2023年5月版

142	2021年（令和3年）	12月	土木遺産調査	角倉了以翁の業績の保津川と高瀬川の開削、および三栖閘門を調査。
143	2022年（令和4年）	5月	年次総会（2022年度）	コロナ禍のため総会はメール審議にて開催した。
144	2022年（令和4年）	7-12月	いきいき活動（学童保育支援）	諏訪小（7月）、北津守小（8月）、春日出小（12月）の3校について学童保育支援として、トラス橋の模型製作を行った。
145	2022年（令和4年）	9月	土木学会の行事支援	京都で開催された土木学会全国大会にて京都または関西の主要な土木施設や先人の苦勞がしのばれる選奨土木遺産の記録映画、計10本を上映した。
146	2022年（令和4年）	10月	橋と土木施設の現地調査	大和川に架かる河内橋から高野橋までの5橋を調査した。最後に阪神高速道路の喜連瓜破高架橋を見学した。
147	2022年（令和4年）	11月	出前講演	地盤工学会関西支部若手セミナーにて講演「土留め開削工事のトラブル」（清水 文夫氏） 「伝えたい堤防の話」（今岡 亮司氏）
148	2022年（令和4年）	11月	いきいき活動（学童保育支援）	「いきいき作品展」に北津守小が「橋の模型づくり」の作品を出展し、179校の作品中、優秀作品（30点）に選ばれた。CVV方式をもとに工夫を凝らした作品が見受けられた。
149	2022年（令和4年）	12月	土木遺産調査	湊川隧道、和田岬砲台、和田回旋橋などの土木・産業遺産を見学。その後、前畑氏の講演、意見交換会に参加した。
150	2022年（令和4年）	12月	土木行事支援	従来、神戸市主催で行われてきた橋梁模型コンテストが本州四国連絡道路㈱の主催に替わった。そのコンテストにCVVから審査員を派遣し協力した。
151	2022年（令和4年）	12月	技術継承の資料編集	CVV活動の柱の一つである技術継承に利用するために、現会員13人の経験や体験談を「CVVな男たち女たち」としてまとめた。これを活用してもらうためにパンフレットを作成し配布した。